

任務を構成する事業評価

No.	29	担当課	こども政策課
-----	----	-----	--------

1.任務目的

任務目的	幼児期における教育・保育の充実を図り、安心できる子育て環境をつくる
------	-----------------------------------

2.任務概要

任務概要	多様化する保育ニーズに対応するため、認定こども園化、地域型保育事業の導入促進及び保育士確保により待機児童対策を行う。また、安心して子育てができる環境整備に努める。
任務の総括	新たに1園、小規模保育事業の認可を行い(定員+9人)、待機児童の解消に向けて事業を推進することができた。また、令和4年度の開園に向けて、市内認定こども園の園舎増改築に係る事業を進め、保育定員枠の拡大を図った。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	認定こども園化事業	予算事業番号 (予算事業名)	103087(小笠地域園舎再編整備事業) 110182(小笠地域園舎再編整備事業)
事業(中分類)概要	市内保育所等の認定こども園化による柔軟な受入れと定員確保。		
取組内容・結果等(D)	令和2、3年度で計画している西方保育園の増改築に係る補助金等の事前協議や市内法人の認定こども園化の支援を行った。また、認定こども園みなみこども園の開園に伴い、小笠南幼稚園園舎の取り壊し及び跡地整備を行った。		
課題・問題点等(C)	将来の少子化に向けて、法人による園経営を安定して持続可能なものにしていく必要がある。		
今後の方向性(A)	適正な定員確保のため、市内法人による認定こども園化を促進する。		

事業名(中分類)	地域型保育事業	予算事業番号 (予算事業名)	103062(地域型保育施設整備事業)
事業(中分類)概要	地域型保育事業(小規模保育事業等)の導入による0歳～2歳児の定員確保。		
取組内容・結果等(D)	小規模事業所として、(福)愛育会「おやまのこ」(定員9名)の認可を行い、待機児童の解消に向けて事業を推進した。		
課題・問題点等(C)	小規模事業所は0歳～2歳までの受入れなので、3歳～5歳児が入園できる連携幼保施設の確保が必要である。		
今後の方向性(A)	市内法人を中心に、連携幼保施設と小規模保育事業の実施検討を促進する。		

事業名(中分類)	保育士不足の解消	予算事業番号 (予算事業名)	
事業(中分類)概要	大学等の訪問による求人情報の周知と保育ニーズの把握。		
取組内容・結果等(D)	保育士確保の推進を図るため、ふれあい広場やスポーツレクリエーション大会において、保育士登録制度等のチラシ等を配布しPRを行った。また、県内の大学(15箇所)を訪問し、市内保育所等の募集状況の説明と呼びかけを行った。		
課題・問題点等(C)	新採保育士の確保に加えて、潜在保育士の掘り起こしを行う必要がある。		
今後の方向性(A)	大学訪問等の活動に加え、菊川市保育士登録制度の見直しを検討する。		

事業管理シート(任務目的)

任務目的	幼児期における教育・保育の充実を図り、安心できる子育て環境をつくる		
事業名(中分類)	冠水対策事業	予算事業番号 (予算事業名)	
事業(中分類)概要	河川防災ステーションの建設事業と合わせ、緊急避難路の確保と周知に努める。		
取組内容・結果等(D)	河川防災ステーションの建設の計画に合わせ、おおよそ認定こども園の緊急避難経路を園児・保護者・職員等が共有し、緊急時に慌てることのないよう必要な訓練を重ねる。		
課題・問題点等(C)	年度が変われば、園児・保護者・職員等も変わっていくので、繰り返し訓練を行う必要がある。		
今後の方向性(A)	定期的な訓練に加え、日々の散歩時等でも避難経路の再認識に努め、各自の意識を高めていく。また、令和2年10月に河川防災ステーションが完成予定であるため、避難経路の再検討を行う。		